

東日本旅客鉄道株式会社松本事業本部と国立大学法人信州大学との 連携事業として観光振興・人材育成の授業を開講します

東日本旅客鉄道株式会社松本事業本部と国立大学法人信州大学（以下、信州大学）は、観光産業への関心を高め、観光人材の育成を目的とした連携事業として授業を開講します。7年目となる本連携事業では、JR松本駅を起点とした地域の観光づくりについて、信州大学の学生とJR東日本の社員が連携してフィールドワークやディスカッション等を行い、課題解決に向けて取り組みます。

1 講座名

2026 年度「価値創造実践ゼミ」

（全学横断特別教育プログラム「ローカル・イノベーター養成コース」「ストラテジー・デザイン人材養成コース」スタートアップ授業）

2 授業の特徴

2026 年度は、若年層やファミリー層をターゲットとし、2027 年 7 月から 9 月に開催される信州デスティネーションキャンペーン（以下、信州 DC）でお客さまに提供できる取り組みを検討します。また、信州 DC 終了後にも受け継がれ、有効活用できる価値や仕組みを提案することをテーマとしています。

受講生は「モノ商品」または「コト商品」について、プロモーションおよびモビリティ・サービス（交通手段、チケットティング、MaaS など）の観点を含め、松本周辺エリアを軸にした観光分野の新たな価値創造の提案に取り組みます。

モノ商品
or
コト商品



プロモーション



モビリティ
・
サービス

3 授業の形式

Problem/Project Based Learning: PBL 方式で実施し、実際の現場においての問題発見、課題設定、課題解決を行いながら、地域資源や JR のリソースを活用した新たな観光価値の創出に取り組みます。受講生はテーマを設定し、リサーチによる現状把握や資源分析を踏まえて提案のドラフトを作成し、その実証や検証を通じて更なるリサーチと提案内容を磨き上げます。最終的には、課題解決プログラムを報告会（2027 年 2 月 16 日（火）開催予定）にて、信州 DC やその後の地域活性化につながる提案を発表します。

4 対象・定員

2026 年度「価値創造実践ゼミ」全学生・20 名程度

5 時期

2026 年度後期（2026 年 9 月 29 日(火)～2027 年 2 月 9 日(火)）

※事業提案報告会（2027 年 2 月 16 日(火)開催予定）